

年度	2026 年度
試験日	2026 年 2 月 22 日(日)
学部	社会科学部
入試制度	一般選抜
試験科目	総合問題

### 出題意図 及び 解答例 (解答のポイント)

#### 【注意事項】

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWeb サイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。

※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

#### ■出題意図

社会科学部で学ぶにあたって必要な知識理解、論理的思考力、資料や図表の読解・分析能力、表現力等を多面的・総合的に評価・判定する。

#### ■解答例 (解答のポイント)

#### I

問 1.

解答例： 夏と冬に 2 つのピークがあったが、夏季に多発していた疾病死亡が克服されたことで冬にだけピークをもつパターンに変化した。(58 字)

問 2. a

問 3. c・f

問 4. b

問 5. d

問 6. e

問 7 b・e・f

問 8 a・e

#### II

問 1. c

問 2. e

問 3. d

問 4. d

問 5. b・f

問 6.

解答例： 漁業において、より大きな漁船を建造することは、1回の漁でより多くの魚を獲ることができ一方、造船のためにより大きな費用と期間が必要になるので、迂回化にあたる。漁業による収入は漁船の建造後に得られるため、その収入は造船費用よりも大きく割り引かれる。特に、利子率が十分に高くなれば、将来得られる漁業収入の現在価値は造船費用の現在価値を下回り、漁船の建造は断念される。(182字)